

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 中国財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第22期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社サンマルクホールディングス |
| 【英訳名】 | Saint Marc Holdings Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 片山 直之 |
| 【本店の所在の場所】 | 岡山市北区平田173番地104 |
| 【電話番号】 | 086-246-0309（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役管理本部長 綱嶋 耕二 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 岡山市北区平田173番地104 |
| 【電話番号】 | 086-246-0309（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役管理本部長 綱嶋 耕二 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第21期 第2四半期 連結累計期間 | 第22期 第2四半期 連結累計期間 | 第21期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(千円) | 21,734,172 | 23,564,211 | 44,728,080 |
| 経常利益(千円) | 3,438,703 | 3,164,462 | 7,009,879 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 1,851,535 | 1,717,994 | 3,608,474 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 1,857,501 | 1,711,641 | 3,631,150 |
| 純資産額(千円) | 30,944,411 | 33,319,268 | 32,208,374 |
| 総資産額(千円) | 39,199,871 | 41,725,542 | 41,417,397 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円) | 163.48 | 151.69 | 318.61 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 78.9 | 79.9 | 77.8 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 2,963,523 | 2,543,220 | 6,364,209 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 2,044,999 | 2,089,018 | 3,404,359 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 828,920 | 943,156 | 1,667,619 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円) | 9,884,476 | 10,599,531 | 11,095,159 |

| 回次 | 第21期 第2四半期 連結会計期間 | 第22期 第2四半期 連結会計期間 |
|------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年7月1日 至平成23年9月30日 | 自平成24年7月1日 至平成24年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額(円) | 90.88 | 91.01 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要とエコカー補助金などの政策効果に支えられ緩やかな回復傾向がみられたものの、欧州債務危機問題の再燃や円高の長期化により国内景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、乏しい景気回復感の中、中食・内食志向が高まるなど、節約志向が依然として根強く、ファーストフードなどの低価格業態も含み総じて厳しい状況がみられております。

このような状況の中、当社グループは中長期の安定的な成長の基盤を固めるため、好立地への積極出店の継続、新業態（派生業態）の開発・実験に注力し、既存店舗の品質・サービスレベルの維持向上を図るため、バリュー感のあるメニューの見直しや人材の採用、教育ならびに、内部研修の充実を重点施策として推進してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営2店舗、石狩食堂（すし業態の実験）直営1店舗、ベーカリーレストラン・パケット直営3店舗、BISTRO309直営4店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営8店舗、台湾小籠包直営1店舗、サンマルクカフェ直営19店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店38店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店582店舗、フランチャイズ店99店舗、合計681店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高235億64百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益31億64百万円（同8.0%減）、四半期純利益17億17百万円（同7.2%減）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は124億58百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は18億48百万円（同14.0%減）となりました。

ファーストフード事業売上高は102億46百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は16億33百万円（同1.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は417億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億8百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は135億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億87百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が4億95百万円減少したこと及び売掛金が1億71百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は281億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億96百万円増加となりました。これは主に事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が6億40百万円及び敷金及び保証金が1億40百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は58億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億19百万円の減少となりました。これは主に買掛金が65百万円減少したこと及び未払法人税等が4億71百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は25億72百万円となり前連結会計年度末と比較して2億83百万円の減少となりました。これは主にリース債務が3億53百万円減少し、直営店出店に伴う資産除去債務が85百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して11億10百万円増加し、333億19百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益29億17百万円の確保により、前連結会計年度末と比較して4億95百万円減少し、105億99百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は25億43百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して4億20百万円の減少（前年同期比14.2%減）となりました。

この主なものは、税金等調整前四半期純利益29億17百万円の獲得、減価償却費11億12百万円の発生及び法人税等の支払が16億62百万円発生したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は20億89百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して44百万円の増加（同2.2%増）となりました。

この主なものは、事業拡充のための有形固定資産の取得による支出17億42百万円、敷金及び保証金を含むその他投資取得による支出1億31百万円を行ったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は9億43百万円となり、前年同四半期連結累計期間と比較して1億14百万円の増加（同13.8%増）となりました。

この主なものは、配当金の支払5億98百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務の返済による支出が3億43百万円発生したこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,000,000 |
| 計 | 40,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|----------------------------|---|
| 普通株式 | 11,388,685 | 11,388,685 | 東京証券取引所 市場第一部 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 11,388,685 | 11,388,685 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|------------------------------|---------------|--------------|------------|-----------|--------------|-------------|
| 平成24年7月1日 ~ 平成24年9月30日 | - | 11,388,685 | - | 1,731,177 | - | 14,355,565 |

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--|---|---------------|--------------------------------|
| 片山 直之 | 岡山市南区 | 3,058 | 26.86 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 1,166 | 10.24 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 東京都港区浜松町2丁目11番3号 | 627 | 5.51 |
| 株式会社クレオ | 岡山市南区東畦110番地の29 | 515 | 4.53 |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) | 82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 | 480 | 4.21 |
| 株式会社中国銀行 | 岡山市北区丸の内1丁目15番20号 | 242 | 2.13 |
| 伊藤忠商事株式会社 | 東京都港区北青山2丁目5番1号 | 240 | 2.11 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーZ棟 | 216 | 1.90 |
| 中川 佳子 | 京都府福知山市 | 110 | 0.97 |
| 重田 康光 | 東京都港区 | 100 | 0.88 |
| 計 | - | 6,758 | 59.34 |

(注) 当第2四半期会計期間末日現在における信託銀行の信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 63,300 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 11,249,100 | 112,491 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 76,285 | - | - |
| 発行済株式総数 | 11,388,685 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 112,491 | - |

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株及び株主名簿上当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが、実質的に所有していない株式3,900株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義株式52株、自己保有株式32株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社サンマルクホールディングス | 岡山市北区平田173番地104 | 63,300 | - | 63,300 | 0.56 |
| 計 | - | 63,300 | - | 63,300 | 0.56 |

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社子会社である旧株式会社サンマルク(現株式会社サンマルクカフェ)名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,900株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含めております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,095,159 | 10,599,531 |
| 売掛金 | 2,395,316 | 2,223,415 |
| 商品 | 199 | 194 |
| 原材料及び貯蔵品 | 211,911 | 233,837 |
| その他 | 450,397 | 507,674 |
| 貸倒引当金 | 15,760 | 15,408 |
| 流動資産合計 | 14,137,223 | 13,549,245 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 13,187,243 | 13,827,927 |
| 土地 | 3,087,944 | 3,087,944 |
| その他(純額) | 1,852,521 | 1,871,206 |
| 有形固定資産合計 | 18,127,709 | 18,787,078 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 112,636 | 171,035 |
| 無形固定資産合計 | 112,636 | 171,035 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 7,204,359 | 7,344,554 |
| その他 | 1,843,708 | 1,881,869 |
| 貸倒引当金 | 8,241 | 8,241 |
| 投資その他の資産合計 | 9,039,826 | 9,218,182 |
| 固定資産合計 | 27,280,173 | 28,176,296 |
| 資産合計 | 41,417,397 | 41,725,542 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,498,881 | 1,432,986 |
| 未払金 | 2,108,793 | 2,152,682 |
| 未払法人税等 | 1,615,723 | 1,144,525 |
| 引当金 | 38,839 | 114,215 |
| 資産除去債務 | 15,062 | - |
| その他 | 1,075,498 | 989,301 |
| 流動負債合計 | 6,352,798 | 5,833,711 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 78,226 | 83,324 |
| 資産除去債務 | 1,355,908 | 1,441,529 |
| その他 | 1,422,089 | 1,047,708 |
| 固定負債合計 | 2,856,224 | 2,572,561 |
| 負債合計 | 9,209,022 | 8,406,273 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,731,177 | 1,731,177 |
| 資本剰余金 | 3,038,800 | 3,038,800 |
| 利益剰余金 | 27,584,332 | 28,702,074 |
| 自己株式 | 176,709 | 177,204 |
| 株主資本合計 | 32,177,601 | 33,294,848 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 30,773 | 24,420 |
| その他の包括利益累計額合計 | 30,773 | 24,420 |
| 純資産合計 | 32,208,374 | 33,319,268 |
| 負債純資産合計 | 41,417,397 | 41,725,542 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 21,734,172 | 23,564,211 |
| 売上原価 | 4,710,818 | 5,296,921 |
| 売上総利益 | 17,023,353 | 18,267,289 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,588,831 | 15,254,292 |
| 営業利益 | 3,434,522 | 3,012,996 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,397 | 6,679 |
| 受取配当金 | 1,472 | 2,674 |
| 受取賃貸料 | 49,725 | 44,781 |
| 受取補償金 | - | 139,850 |
| その他 | 6,430 | 24,094 |
| 営業外収益合計 | 65,025 | 218,079 |
| 営業外費用 | | |
| 支払賃借料 | 44,606 | 44,646 |
| 為替差損 | 9,450 | 6,674 |
| その他 | 6,787 | 15,293 |
| 営業外費用合計 | 60,844 | 66,614 |
| 経常利益 | 3,438,703 | 3,164,462 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 52,320 | 168,673 |
| 減損損失 | 85,548 | 77,943 |
| 特別損失合計 | 137,868 | 246,617 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,300,835 | 2,917,845 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,420,970 | 1,174,695 |
| 法人税等調整額 | 28,329 | 25,155 |
| 法人税等合計 | 1,449,299 | 1,199,850 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,851,535 | 1,717,994 |
| 少数株主利益 | - | - |
| 四半期純利益 | 1,851,535 | 1,717,994 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,851,535 | 1,717,994 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 5,966 | 6,352 |
| その他の包括利益合計 | 5,966 | 6,352 |
| 四半期包括利益 | 1,857,501 | 1,711,641 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,857,501 | 1,711,641 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,300,835 | 2,917,845 |
| 減価償却費 | 934,980 | 1,112,794 |
| 減損損失 | 85,548 | 77,943 |
| その他の引当金の増減額(は減少) | 23,898 | 80,473 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 216 | 352 |
| 受取利息及び受取配当金 | 8,870 | 9,353 |
| 支払利息 | 331 | - |
| 為替差損益(は益) | 9,450 | 6,674 |
| 固定資産除却損 | 52,320 | 168,673 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 142,740 | 171,901 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 26,815 | 21,921 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 69,544 | 65,894 |
| 未払金の増減額(は減少) | 26,824 | 151,005 |
| その他 | 15,461 | 84,857 |
| 小計 | 4,287,335 | 4,202,920 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,615 | 2,815 |
| 利息の支払額 | 681 | - |
| 法人税等の支払額 | 1,324,746 | 1,662,515 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,963,523 | 2,543,220 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,753,267 | 1,742,560 |
| 有形固定資産の除却による支出 | 8,835 | 6,796 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 43,828 | 21,157 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 30 | 30 |
| 貸付けによる支出 | - | 70,000 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | - | 80,000 |
| 資産除去債務の履行による支出 | 10,637 | 37,235 |
| その他 | 228,400 | 131,238 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,044,999 | 2,089,018 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | 445 | 494 |
| 配当金の支払額 | 538,655 | 598,839 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 289,819 | 343,822 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 828,920 | 943,156 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 9,450 | 6,674 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 80,152 | 495,628 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,804,324 | 11,095,159 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,884,476 | 10,599,531 |

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,964千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|----------|---|---|
| 給与賞与 | 4,952,569千円 | 5,669,042千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 101,929 | 113,425 |
| 賃借料 | 3,584,472 | 3,805,566 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 9,884,476千円 | 10,599,531千円 |
| 現金及び現金同等物 | 9,884,476 | 10,599,531 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 537,969 | 47.50 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 509,648 | 45.00 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月9日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 600,252 | 53.00 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月25日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年11月13日 取締役会 | 普通株式 | 554,942 | 49.00 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月10日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1・2 | 四半期連結損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|-----------|------------|---------------|---------------------------|
| | レストラン | ファーストフード | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,579,312 | 9,297,673 | 20,876,985 | 857,187 | 21,734,172 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 11,579,312 | 9,297,673 | 20,876,985 | 857,187 | 21,734,172 |
| セグメント利益 | 2,149,651 | 1,658,308 | 3,807,960 | 373,438 | 3,434,522 |

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価189,840千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,040,785千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1・2 | 四半期連結損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|---------------|---------------------------|
| | レストラン | ファーストフード | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,458,104 | 10,246,204 | 22,704,308 | 859,902 | 23,564,211 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 12,458,104 | 10,246,204 | 22,704,308 | 859,902 | 23,564,211 |
| セグメント利益 | 1,848,804 | 1,633,397 | 3,482,201 | 469,205 | 3,012,996 |

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価202,637千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,126,470千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 163円48銭 | 151円69銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 1,851,535 | 1,717,994 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 1,851,535 | 1,717,994 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 11,325,600 | 11,325,390 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 配当金の総額 554,942千円
2. 1株当たりの金額 49円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社サンマルクホールディングス
取締役会 御中

京都監査法人

指定社員 公認会計士 山本 眞 吾 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高田 佳 和 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。